

十一月二十四日(木)に福井県地域戦略部新幹線建設推進課の吉田勝洋主任に北陸新幹線工事の最新技術と題する講演をいただきました。



ご講演中の吉田勝洋講師

最初に、全国新幹線の整備状況の話があり、その中で特に北陸新幹線は、敦賀からさらに京都經由大阪まで完成したときに、東海道新幹線が大規模災害にあった場合にも東西のルートをとることができると、その役割が非常に高まること、北陸新幹線は、昭和四十八年に計画が立ち上がり、平成元年に高崎から長野間、平成二十七年には長野から金沢間、そして令和六年三月には敦賀まで開業することになるが、県内の線路距離は七十四・四kmで、そのうち約十九・八km(全国六番目の長さ)の新北陸トンネル、九頭竜川を渡る自動車と新幹線との併用橋、水鳥の生息地である中池見湿地帯近傍の防水トンネル、および特徴ある四つの駅舎の建設などに新技術が採用され、費用は凡そ一兆七千六百億円にもなることでした。

他の三つの駅も設置地域の特長を生かしたデザインが採用され、それぞれ地元が採用されたこと、九頭竜川横溝で移動させる横引工法で作ったこと、橋げたを少しづつ埋める方法で橋げたを支える土台を、橋げたは土台を中心として建設したこと、中池見湿地帯付近を通るトンネルでは、その形を円筒にしてコンクリート壁の内側に防水シートを貼り、トンネル内への漏水を防止することなどができました。

「いきいき会」が発足して丸十年が経過しました。此処三年は新型コロナウイルスの大流行にも見舞われましたが、役員をはじめ、運営委員や会員方々の情熱・努力によって何とか凌いできました。

は、リクエストに応じて、二郎さんが三曲を歌ってくださいました。

「いきいき会」が発足して丸十年が経過しました。此処三年は新型コロナウイルスの大流行にも見舞われましたが、役員をはじめ、運営委員や会員方々の情熱・努力によって何とか凌いできました。

福井いきいき会新聞

2023年1月 発行：福井いきいき会 福井市中央1-9-29: 0776-28-6464 発行責任者 吉岡副会長

一生勉強 一生感動 一生青春 (第48号)



シクラメンの花

令和五年の新年を迎えて 名誉会長 福井康人 福井いきいき会発祥以来十年が見事に過ぎ去りました。この十年間は私の最高の人生の一幕であり、私を支えて下さった皆さんに心から感謝を申しあげます。

お互いに助け合うことが私ども、高齢者の使命であり、願望であります。どうか皆さま今年も元気な笑顔でお付き合ひ下さいませ、よろしくお願い申し上げます。

戦争とスポーツ、様々な感動と悲しみが駆けめぐる二〇二二年でした。平和を願う二〇二三年は佳年になりましょう。そして会員の皆様方もどうかご健闘を祈り申し上げます。

「いきいき会」が発足して丸十年が経過しました。此処三年は新型コロナウイルスの大流行にも見舞われましたが、役員をはじめ、運営委員や会員方々の情熱・努力によって何とか凌いできました。

は、リクエストに応じて、二郎さんが三曲を歌ってくださいました。

新年のご挨拶 相談役 濱田芳雄

私は、昨年は病氣勝ちで会への出席は困難でしたが、当新聞には、多くの人生訓の掲載をしていただき、感謝の言葉を申し上げます。

新年のご挨拶 副会長兼事務局長 吉岡芳夫

新年あけましておめでとうございます。昨年は、三谷市民文化振興事業団の補助金を得て、福井いきいき会の新聞の総集編(冊子)を発行でき、多くの会員の方々に渡すことができました。

新年のご挨拶 顧問 寺岡弘文

「いきいき会」が発足して丸十年が経過しました。此処三年は新型コロナウイルスの大流行にも見舞われましたが、役員をはじめ、運営委員や会員方々の情熱・努力によって何とか凌いできました。

新年のご挨拶 会計担当 大野 勉

新年明けましておめでとうございます。当会は今年創立十一周年を迎えますが、この間当会では二つの大きな役割、一つは急激な高齢化社会に対する私的団体としての貢献、二つは我々会員に生き甲斐を与える機会を提供してきていると自負しています。

新年のご挨拶 例会講演会の概要

「いきいき会」が発足して丸十年が経過しました。此処三年は新型コロナウイルスの大流行にも見舞われましたが、役員をはじめ、運営委員や会員方々の情熱・努力によって何とか凌いできました。

